

各施設の医療対応に関する受入基準

※この基準は、入所判定におけるひとつの目安であって、入所を確実に保証するものではありません。
 ※詳細に関しては、各施設にお問い合わせください。
 ※網掛けの項目については、治癒後、または病状安定後に通常枠での入所となります。

要件	施設	○：可 △：個別に検討 ×：不可	備考
経管栄養 胃ろう 腸ろう 経鼻胃管	一番町	胃ろう ○ 腸ろう ○ 経鼻胃管 △	胃ろう（PEG）・経鼻胃管の定期交換を行う医療機関の確保と交換時にご家族等の通院・入院の協力が必要。経鼻胃管は感染や事故リスクが高いため、本人の心身状態に応じて受入れ可否を個別に検討。
	かんだ連雀	△	本人の身体状況に応じた協力医療機関の確保と、通院・入院時のご家族の協力が必要。経鼻栄養については、感染や事故のリスクが高く受入が困難。
	ジロール麹町	×	
	ザ番町ハウス	胃ろうのみ○	本人の身体状況に応じた協力医療機関の確保が前提。定期交換等受診および入院時に、ご家族の協力が必要。腸ろう・経鼻栄養については、感染や事故リスクが高く受入が困難。
気管カニューレ	一番町	△	病状に応じ、個別に検討。
	かんだ連雀	△	
	ジロール麹町	×	
	ザ番町ハウス	×	
バルーンカテーテル	一番町	○	自己抜去のリスク等、本人の状況により、必要なカテーテルの交換、膀胱洗浄など受診および入院時に、ご家族の協力を相談する場合あり。
	かんだ連雀	△	定期交換を行う医療機関の確保と家族の協力の確認が必要。
	ジロール麹町	△	
	ザ番町ハウス	△	自己抜去のリスク等、本人の状況により検討。カテーテルの交換、膀胱洗浄など受診および入院時にご家族の協力が必要。
人工肛門	全施設	○	病状の安定が前提。定期交換を行う医療機関の確保と家族の協力が必要。
人工膀胱	全施設	△	体外にバッグを装着していること。
人工透析	一番町	○	病状の安定を前提に、主治医の許可のもと医療機関側の送迎または家族等が通院援助を行う場合は、対応可能。
	かんだ連雀	△	病状の安定を前提に、家族等が通院援助を行う場合は、対応可能。
	ジロール麹町	×	通院時間、回数に対応できない。
	ザ番町ハウス	△	病状の安定を前提に、家族等が通院援助を行う場合は、対応可能。
在宅酸素	全施設	△	主治医の許可、指示のもと、酸素濃縮器等の機器を持ち込めば可。状態が比較的落ち着いている方。
IVH（中心静脈栄養法）	一番町	×	感染や事故のリスクが高いため受入困難。
	かんだ連雀	×	医師が常駐していないため、管理が困難。
	ジロール麹町	×	
	ザ番町ハウス	×	感染や事故のリスクが高いため受入困難。

※この基準は、入所判定におけるひとつの目安であって、入所を確実に保証するものではありません。
 ※詳細に関しては、各施設にお問い合わせください。
 ※網掛けの項目については、治癒後、または病状安定後に通常枠での入所となります。

要件	施設	○：可 △：個別に検討 ×：不可	備考
インシュリン注射	一番町	○	血糖値が安定、インシュリンの投与量が毎回一定であり、医師等の指示に基づき、看護師勤務時間内の注射であれば可。 または、家族が毎回インシュリン注射を行うのであれば可。
	かんだ連雀	△	症状に応じ、個別に検討。
	ジロール麴町	△	血糖値が安定、インシュリンの投与量が毎回一定であり、看護師勤務時間内の注射であれば可。 または、家族が毎回インシュリン注射を行うのであれば可。
	ザ番町ハウス	△	血糖値が安定していて、インシュリン投与量が一定であれば可。 看護職員勤務時間内での注射回数であれば対応可能。
在宅NPPV療法 (在宅人工呼吸療法)	全施設	×	
吸引	全施設	△	病状に応じ、個別に検討。定期検診や入院時の家族の協力は必要。
点滴の管理	一番町	×	一時的な応急処置としての点滴対応のみ対応。
	かんだ連雀	×	
	ジロール麴町	×	
	ザ番町ハウス	×	医師が常駐していないため、管理が困難。
レスピレーター (人工呼吸器)	一番町	×	
	かんだ連雀	×	
	ジロール麴町	×	
	ザ番町ハウス	×	医師が常駐していないため、管理が困難。
気管切開の処置	一番町	×	
	かんだ連雀	×	
	ジロール麴町	×	
	ザ番町ハウス	×	医師が常駐していないため、管理が困難。
疼痛の看護	一番町	△	看取りを前提とした末期がんの場合を想定。個別の状況に応じて検討。
	かんだ連雀	△	病状に応じ、個別に検討。
	ジロール麴町	○	
	ザ番町ハウス	△	看取りを前提とした末期がんの場合は個別に検討。
モニター測定 (血圧・心拍・酸素飽和度)	一番町	△	病状に応じ、個別に検討。モニターは未設置。 定時の血、心拍数、酸素飽和度は随時測定。
	かんだ連雀	△	病状に応じ、個別に検討。
	ジロール麴町	×	
	ザ番町ハウス	×	医師が常駐していないため、管理が困難。

※この基準は、入所判定におけるひとつの目安であって、入所を確実に保証するものではありません。
 ※詳細に関しては、各施設にお問い合わせください。
 ※網掛けの項目については、治癒後、または病状安定後に通常枠での入所となります。

要件	施設	○：可 △：個別に検討 ×：不可	備考
MRSA	一番町	○	
	かんだ連雀・ ジロール麴町・ ザ番町ハウス	△	急性期及び他者に感染の可能性が強い場合は対応が困難。
肝炎 A型	一番町	○	
	かんだ連雀・ ジロール麴町・ ザ番町ハウス	△	急性期を過ぎれば可。
肝炎 B型	一番町	○	
	かんだ連雀・ ジロール麴町・ ザ番町ハウス	△	HBs抗体(+)、HBs抗原(-)、DNA-P(-)であれば可。
肝炎 C型	一番町	○	
	かんだ連雀・ ジロール麴町・ ザ番町ハウス	△	HCV抗体(+)、HCV-RNA(-)であれば可。
疥癬・シラミ	全施設	×	治癒してから入所。
結核	全施設	×	
褥瘡	一番町	△	病状に応じ、個別に検討。専門医による外科処置等が必要な場合、その受診や入院時に家族の協力が必要。
	かんだ連雀	△	病状に応じ、個別に検討。定期検診や入院時の家族の協力は必要。
	ジロール麴町	×	入居の段階では対応ができない。
	ザ番町ハウス	△	病状に応じ、個別に検討。専門医による外科処置等が必要な場合、その受診や入院時に家族の協力が必要。
緑膿菌	一番町	△	病状に応じ、個別に検討。定期検診や入院時の家族の協力は必要。
	かんだ連雀	△	
	ジロール麴町	△	
	ザ番町ハウス	△	病状に応じ、個別に検討。専門医治療が必要な場合、その受診や入院時に家族の協力が必要。

入所申込者名簿順番の判定基準

項目		基準	ポイント	備考	上限
本人の状況	要介護度	要介護5	50	要介護度に応じ、配点する。	60
		要介護4			
要介護3		40			
要介護2		20			
要介護1		10			
認知症	認知症の周辺症状	0～20	認定調査項目第3群の8（徘徊）、9（外出して戻れない）第4群「精神・行動障害」、第5群の4（集団への不適応）中で、該当項目1つにつき、2ずつ加算する。		
本人以外の状況	介護困難	ひとり暮らしである	15	ひとり暮らしである	25
		介護者がいない	10	介護者がいない	
		介護者の年齢	10	介護者の年齢が75歳以上、もしくは20歳以下	
		介護者が要介護者	10	①介護者が要介護1以上	
		介護者が手帳を所持	15	②介護者が「身体障害者手帳」1～4級を所持	
				③介護者が「精神障害者保健福祉手帳」を所持	
				④介護者が「療育手帳・愛の手帳・愛護手帳・みどりの手帳」のいずれかを所持	
		介護者が病気等により介護できる状況でない	10	⑤介護者がその他上記①～④に準ずる	
介護者の生活に、支障をきたす可能性がある状況	5	介護者が就労している			
		介護者に小学生以下の子がいる			
介護者が入所対象者本人の他に、要介護者、手帳所持者等の介護をしている	10	介護者が本人の他に、要介護者・手帳所持者等（上記①～⑤の状況にある者）の介護をしている			
住宅環境	住宅環境が、在宅で介護できる状況でない	10	本人の生活場所が、エレベーター（昇降機含む）が無く2階以上で、自力で階段の昇り降りができない		
加算項目	介護期間	1年ごと	1～15	千代田区内において要介護3以上の期間を合算した年数に応じ、配点する。	15
	年齢	100歳以上	5	年齢に応じ、配点する。	
		95歳～99歳	3		
		90歳～94歳	1		
	区内居住期間	31年以上	10	千代田区内の住民登録期間の継続年数に応じ、配点する。	
		21年～30年	8		
		11年～20年	6		
6年～10年		4			
	3年～5年	2			
合計					100